

## 新着情報：これであなたもスキルアップ!!

### ※ 防災プラス Bosai Plus ※

これは本ではありません。E-mailまたはFax、郵送で配信される防災専門の情報紙です。毎月1日と15日に発行され、年間の購読料は2,400円(E-mailの場合)です。毎回の配信は、A4で8~10ページ程度ですが、毎号様々な視点から防災のあり方を伝えています。

ちなみに2012.4.15発行のNo.40の特別企画は「地震で死なない法」ケーススタディその2 その時どう行動するか／外出先・屋外編でした。

このほか防災イベントと災害史カレンダーである防災カレンダーもあります。研修会などの種本として最新情報の仕入れに役立つこと、間違いません。

こちらのURLよりアクセスください。 [www.bosai-plus.info](http://www.bosai-plus.info)

### § 新刊紹介 §

皆様の活動に役立つ片田敏孝先生(群馬大学 教授)の新刊を2冊ご紹介いたします。

#### ● 人が死なない防災 「生存率99.9%の背景」

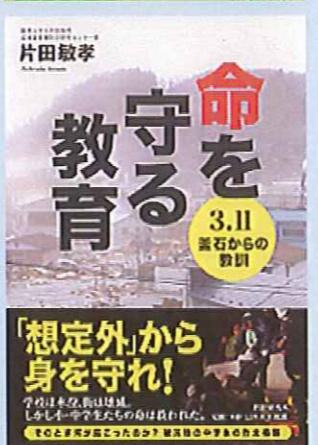
「生存率99.9%」を現出した防災論の全貌!東日本大震災で大津波に襲われた釜石では、小中学生が主体的避難行動で自らの命を守った。震災前から釜石で画期的な「防災教育」を行ってきた著者が、災害と対峙し生き抜く術を徹底公開。(集英社 本体価格¥760)



#### ● 命を守る教育 3.11釜石からの教訓を守る教育

学校は水没、街は壊滅。しかし小・中学生たちの命は救われた。3.11、未曾有の大津波に襲われた岩手県釜石市。小・中学生を救ったのはこれまでの「防災教育」だった。

津波にかぎらず、自然災害には想像をはるかに超える猛威がある。対処療法的なマニュアル教育では太刀打ちできないのだ。固定的な考え方を捨て、どんな状況下でも生き延びられるようにする教育とはなにか。あなたの子どもを救うもの。それは想定を否定し、知識ではなく「逃げる姿勢」を育むことだ。(PHP研究所 本体価格¥1,200)



### 編集後記

先日、岩手県と宮城県の沿岸部がどの程度復旧しているか見てきました。ガレキが片付きつつあるものの、まだ取り壊しが済んでいない鉄筋コンクリート製の建物が多く残り、住居地だったと思われる場所には建物の基礎がそのままの状態で残っていました。まだまだ復旧には時間がかかると感じました。(か)



# NBN

NPO 法人日本防災士会・新潟県支部会報 第6号

## 新潟防災ネットワーク

## NiigataBousaiNetwork

### ～D I G指導者養成研修を開催しました～

NPO 法人日本防災士会・新潟県支部 支部長 別府 茂

去る3月24日、長岡市民防災安全士会と共に長岡市民防災センターにおいてD I G指導者養成研修を開催しました。参加総数57人のうち、防災士は17名、アンケートは12名の皆さんからお答えいただきました。ここでは、回答から主要な部分を紹介します。

Q3 セミナーの内容は適切だったか?

やさしい1、適切9、難しい2、その他0

Q4 今回のセミナーで地域のD I G研修は可能か?

可能11、できない1、支援必要0

Q5 次の研修のテーマは?

避難所運営3、地域コミュニティー関連3、D I Gなどをさらに詳しく2

Q6 またセミナーに参加しますか?

する11、しない0、どちらとも言えない0

以上のように参加者からは、実践的で内容も適當であったとの評価をいただきました。

尾身副支部長、滝沢さんはじめ指導にご協力いただきました会員の皆様のおかげです。ありがとうございました。研修で使用した資料などは今後の地区活動にご利用いただけますので、必要な方は事務局までご連絡ください。平成24年度も引き続き、スキルアップと地域活動などで役立つ内容の研修会を行いますので、多くの参加をお待ちしています。



### NPO 法人日本防災士会・新潟県支部 会員募集

NPO 法人日本防災士会・新潟県支部では、会員を募集しています。あなたの地域で防災士を取得されている方で、さらなるスキルUPを希望されており、新潟県内や全国の様々な情報を欲している方はいませんか? 現在、県支部会員(5月末日現在)は、新潟地区17人 上越地区8人 中越地区36人 下越地区3人 佐渡地区31人 合計95人になっています。新潟県自主防災コーディネーター登録者数は4月1日現在151名ということです

NPO 法人日本防災士会・新潟県支部では、防災活動に関する様々なニーズにお応えできる研修会や情報提供を行っております。入会を希望される方は、下記事務局までご連絡ください。

※NPO 法人日本防災士会・新潟県支部事務局

〒948-0003 新潟県十日町市本町6-3 TEL: 025-752-7353 FAX: 025-750-3670

NPO セーフティネットぼうさい内 担当: 尾身誠司 (E-mail: tbk119@jeans.ocn.ne.jp)



# 新潟県支部の活動

## ★県支部研修会を終わって★

中越地区 滝沢 繁（十日町市）

去る3月24日、長岡市で県支部主催の研修会が行われた。

今回はDIG研修で長岡市の安全士会の皆さんにも協力を頂いて、54名の仲間の参加のもと実施された。割合からすると、安全士会のメンバーの人が多く、支部会員の皆さんはファシリティーターの補助にまわり指導にあたった。38名の安全士会の皆さんは、この種DIGの研修を受けるのは初めての人が多く、熱心に取り組んでいた。

我々、十日町地域においては市内の自主防災会の要請に答え、各地に出かけ、指導的役割を果たしている関係で、ほとんどのメンバーがファシリティーターをつとめる事が出来るところまで研修を積んでいる。防災のイの一番は「自分たちの地域は自分たちで守る」ことである。自分たちの地域を知る上で、とりわけ大きな市町村ではDIGは大変有効だと考えている。

今回、ファシリティーターをつとめ、後日、支部として会員を対象にアンケートしてみると、スキルアップのうえでたいへん有効だった、この他に避難所設営等についてもやってほしか、それぞれのスキルにあわせた意見が出され、今後の研修のあり方について参考となる意見があった。

今後もスキルアップに努力をしたいと思う。



## ★長岡研修会に参加して★

上越地区 古川 慎太郎（上越市）

平成24年3月24日に日本防災士会新潟県支部・中越市民防災安全士会・妙高市防災士会の共催で「DIG (Disaster Imagination Game: 災害図上訓練) 指導者養成セミナー」が、ながおか市民防災センター2階研修室で開催されました。新潟県支部より17名、中越市民防災安全士会より40名の計57名の参加者があり、長年の指導経験がある尾身副支部長が講師を務められ真面目な話題にも楽しさを取り入れて進行していました。

私はまだDIGの経験がなかったもので、指導者養成というよりは体験してみたいと興味があり参加しました。研修内容は事例紹介をもとにDIGの使い方の説明があり、指導者向けに成り立ちや活用方法、準備品、進め方の詳しい説明がありました。午後には班に分かれ実際に長岡市の地域地図を用いて演習があり、実際に頭と体を使って体験することができました。演習の精度を上げていくには想定された状況をどれだけ想像できるかが大きなポイントとなり、経験や知識を高めることでより実際に近い演習になると思いました。またDIGの活用方法は防災訓練に限ったことではなく、様々な訓練での座学に応用できると感じました。受講後すぐに指導者として動けませんが、DIGについて深く勉強できた1日となりました。今回のような研修会を県内各地区で定期開催ができれば身近な指導者仲間を増やせ、各地域におけるDIG研修会を普及していくのではと感じました。

# 会員防災士の活動



## ★自主防災会総合防災訓練実施参加報告★

新潟地区 駒澤 幸雄（新潟市）

昨年9月4日（日）新潟市西区立仏校区ふれあい協議会として第3回目総合防災訓練を実施しました。おりしも台風12号が新潟に接近中にもかかわらず15自治会550名以上の参加を頂き、無事終了しました。

防災部長として毎年様々な訓練をやっており今日は避難所への総合避難訓練を実施レスキューバイク隊長 佐藤 明 防災士の派遣を頂き、避難所での使用上の注意、心がけ等の幾多の経験談講演を頂き誠に有難うございました。

訓練内容として避難誘導訓練、救出救護訓練、集合訓練、初期消火、消防通報、応急手当、濃煙体験、給水、給食訓練を行いました。

昨年3月には、東日本大震災で尊い命や家屋、財産が奪われるとても悲しい災害がありました。県内では津南町や十日町で地震災害があり、また7月には集中豪雨で五十嵐川が決壊し中之口川などの水位が上昇、新潟市西区黒埼地区の大野町全域に避難勧告や避難指示が出されました。

立仏校区においても各所において、道路の冠水や床下浸水が発生。我が立仏校区地域もいつ災害があるか分かりません。今回の防災訓練を通して地域の防災意識の高揚と地域住民同士の連帯感の向上が図られ、10月には立仏小学校避難所マニュアル作成し、今年の3月では社会福祉協議会との西区災害ボランティアセンター設置運営マニュアル作りに翻弄、微力ながら防災士としての地域防災力の向上に努めていきたいと思います。



## \* \* \* \* 日本防災士会北陸地区役員打合せ会報告 \* \* \* \*

平成24年5月26日福井県で開催された日本防災士会北陸地区（新潟県・富山県・石川県・福井県）役員打合せ会に尾身副支部長が出席してきました。

各県から活動状況の報告があり、平常時および災害時における連携のあり方等について協議いたしました。なお会議に先立ち、九頭竜川水系水防演習（高屋橋上流の河川敷）を視察したことを報告いたします。